

華風



特定非営利活動法人国際音楽協会
発行：2022年9月15日 第94号

〒650-0011 神戸市中央区下山手通2-13-9

<http://www.zhonghua-huiguan.com/music/>

Tel 078-392-2711 Fax 078-392-2811



日中国交正常化50周年記念に寄せて

理事長 張文乃

猛暑続きだった夏が過ぎ、秋の気配を感じる今日この頃となりました。会員の皆様におかれましてはご健勝にてのご活躍、何より嬉しゅうございます。コロナ禍でのイベントは、日々ハラハラドキドキで、開催日当日まで「できるのか」「中止か」との心配が頭から離れませんでした。おかげさまで5つの行事を無事行うことが出来ました。これも偏に皆様の日頃からのご支援、また、ご出演くださる方々のご協力の賜物と心より感謝致しております。

ここで今年の4月からの演奏会の報告をさせていただきます。

4月8日(金)神戸文化ホール大ホールにて午後3時からコロナ禍で3年ぶりに行われたお釈迦様のお誕生日をお祝いする花祭り。祝賀のコーラスに少人数で、との出演依頼をいただき、国際女声アンサンブル11名が出演させていただきました。舞台経験豊富な出演者の方々は流石でした。心安らぐ仏教歌を立派に歌い上げ、私たちはお釈迦様に日頃生かされている感謝の気持ちをお届け出来たように思いました。今年は観客の制限もあつての開催となり、例年であれば午前の部、午後の部と観客も自由に参加でき、子ども達の出演もあり、バラエティー豊かなプログラムや有意義な大人向けの講演などもありました。しかし今年は子ども達の出演はコロナのためありませんでした。それでも約2時間というコンパクトな花祭りは心癒やされる貴重なひとときでございました。

4月25日に予定致しておりましたロビーコンサートはコロナのため自粛、延期と致しました。

5月7日(土)午後2時から兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホールにて日中国交正常化50周年記念「平和の祭典」日中二胡名曲コンサートを劉福君九州二胡教室と共に開催させていただきました。2000の客席のホールも開催一ヶ月前にはチケットは完売という盛況ぶり。二胡の出演者は全国から約320名集まり、合唱団は約100名という大所帯でのオープニングは、舞台に乗り切れず、舞台前の客席5列ほどは立奏する演奏家達で埋め尽されました。中華人民共和国駐大阪総領事館から薛劍総領事様、前国土交通大臣・公明党衆議院議員赤羽かずよし様、兵庫県、神戸市からも多数御臨席いただき、素晴らしい演奏家の皆様と共に音楽を通して盛大にお祝いできました。

6月12日(日)は10時から18時30分まで中華會館7階東亜ホールにて第22回中国音楽コンクールを開催。33組のご参加を頂き、昨年はコロナ禍で合唱・合奏の部は中止しましたが今年は復活出来ました。当日は、メディアも入り、コンクールの様子が初めて世界に向けて発信されました。ささやかではございましたが、私ども協会から、皆様の励みになればと初めて賞金も出しました。来年はもっと多くの中国音楽ファンの皆様に喜んでいただけることを願っております。

8月6日(土)13時30分、神戸文化ホール中ホールにて日中国交正常化50周年、兵庫県・広東省友

好提携 40 周年、NPO 法人国際音楽協会設立 25 年の記念演奏会を開催。オープニングには私ども協会の 25 年の活動の間に結成されました国際民族楽団に神戸中華同文学校の民楽部が加わっての見事な演奏と、国際合唱団（40 代から 90 代）が声高らかに日中の歌を歌い日中国交正常化を共に祝えたことに深く感動致しました。第一部の歌劇「夕鶴」は日中の演奏家達が力を合わせた、日中国交正常化なくしてはありえないステージ。第 2 部の日中の獅子舞の共演では兵庫県指定重要無形文化財の大蔵谷獅子舞保存会。地元の生田神社獅子頭保存会と中国南方の獅子舞で兵庫県と広東省友好提携 40 周年を祝いました。

お祝や厄払いの折りに舞われる獅子舞に、これまでにない感動を覚えました。この度はいろんな記念の演奏会であり、また末永き日中友好を願う演奏会でもありましたので人々の願いを叶えてくれる獅子舞に託す思いも一入だったのかもしれません。

私たちの活動は、微力で本当に少しずつの歩みでございます。しかし、困難があっても諦めず、世界の平和を強く、切に願い続けていきたいと思えます。



8月6日(土)日中国交正常化50周年、兵庫県・広東省友好提携40周年、
NPO法人国際音楽協会設立25年の記念演奏会 感想文

《《 オープニング出演者 《《

一日中交流演奏会に参加してー

移情閣コーラス 河合純子

久しぶりの神戸文化ホールでの出演、全体練習のために9時30分に楽屋に集合しての声出しと衣装への着替えも大人数の合同出演ながらスムーズに進行、高齢化で最盛期は30名の部員がいた移情閣コーラスもこのように他グループとの合同で参加でき感謝の一日でした。

若い躍動感あふれる中国民族楽団によるオープニングの後、舞台に立った我々はふるさと兵庫旅情を映像の助けでしつとりと歌い、2曲目は元気な海南島を紹介する曲を力強く歌い、万来の拍手に合唱の心地よさを久々に感じました。

移情閣コーラスは30数年移情閣友の会や孫文記念館の行事はもとより、兵庫県や神戸市の行事にも参加し、中国本土や台湾への音楽による日中親善交流行事にも何度も参加しましたが、部員の減少で存続危機に直面しながらも、日本人主婦ばかりで中国語の歌を主に歌う合唱団としての特徴を維持し、神戸舞子海岸に立つ移情閣(孫文記念館)での文化活動を多くの人々に広める一助になればと、これからも今回同様他グループと共に歌い続ける事が出来ればと再確認した今回の出演でした。

今後とも移情閣コーラスと孫文記念館をどうぞよろしくお願い致します。

日中国交正常化50周年記念演奏会

国際混声合唱団 進藤麗子

2022年8月6日に神戸文化ホールにて盛大に行われました。真夏の早朝より出演者はリハーサルが行われ、緊張の出番を待ちました。思い返せば練習をした日々、張先生の細やかな指導、何度も繰り返し、覚えるのが難しい中国語で皆が歌える迄辛抱強く指導下さり演奏会を迎えることができました。ステージの幕が上がり、座席はほぼ満員でした。

オープニングには国際民族楽団の華やかな彩りの器楽演奏はお客様の気持ちを高揚させて

わくわく感満載です。国際合唱団は50余名、

指揮をされる張先生がサッと腕を振られた時から、神々しく曲の魂が指揮される指先から

私達に降り注ぐように次々メロディーが湧き出て全体が1つになり、歌っている私が不思議な感覚になりました。2曲共美しいハーモニーとなり、客席の方も中国語がきれいに口が揃いとでも良かったね♥お褒め下さった。

歌劇「夕鶴」は3人の男性の声に張りがあり、素晴らしいステージで、おつうの切なさに舞台に引き込まれました。オーケストラいいですね!

日中獅子舞いの競演は今までに見たことがなかったので、中国の舞獅隊は印象的でした

日本の獅子舞もお囃子に合わせとても良かった。それぞれのお国の個性があり素晴らしい出来栄でした。最後のカーテンコールでは張先生美しく気品があり、鶴の衣装が印象的でした。

2022年8月6日

コーラスわかば 松本良子

日中国交正常化50周年記念コンサートの朝は、警報で、始まりました。大事に至らず9時の、集合までには、小雨になりました。先生のお話しによると、何時も大事な日には、お天気に恵まれるそうです。

オープニングの民族楽器合奏に続き合唱

今回の舞台は、落ち着いて先生の指揮に、引き込まれる様に歌うことが、できました。

その後ホール二階で、第一部の夕鶴、二部の、獅子舞の競演、

生田神社の保存会では、男の子が、獅子頭を担当、大人にまじり大役を果たされた。

華僑の御獅子は、とても愛嬌が、あり大きな眼をパチパチさせて、操っている方は、大変でしょうが、とても可愛く最後まで楽しませていただきました。

一つ残念なことは、わかばの全員で、出演出来なかったことでした。

スタッフの皆さま ありがとうございます。

楽しく歌う会 竹田敦子

まず、素晴らしい記念演奏会に出演させて頂きましたことに感謝致します。

張文乃先生の日ごろの熱心な温かいご指導で、本番は安心して楽しく歌う事ができました。合唱団の一人一人の心が一つになっていたのを感じる事ができました。お客様の盛大な拍手もとてもうれしかったです。

その後歌劇「夕鶴」、日中獅子舞を鑑賞させて頂きましたが、「夕鶴」は何度か観ていますが今回は特に物語に引き込まれ、あっと言う間に終わってしまったという感じでした。演技もさることながら、音楽も素晴らしくいつまでも耳にのこりました。

日中獅子舞も、獅子の表情と迫力、そして日本と中国の違いもこの目でみてよくわかり、楽しく拝見いたしました。

すべて終わりましたが、暫く立てない感動でした。

神戸華僑混声合唱団 曾兆華

8月6日の演奏会は記念すべき会で、私にとっても又と無い機会の出演となりました。合唱の練習の始めから当日までずっと張文乃先生をはじめ各氏の尽力を目のあたりにしました。

私は前日まで歌詞を一字一句しっかり覚えていなく、当日は緊張しましたが、目の前の指揮者をずっと見て、何とかしっかり歌えました。ふるさと兵庫旅情の映像は練習中に見ていますが、海南島の映像は見えていないので、一度見てみたいです。

当日のオープニングの民族楽器合奏に出演していた濱崎氏が、次の合唱の為に急いで着替えてました。合唱の時私の隣が林水木氏で、その隣が娘さんの林美里氏なので、林水木氏はやりにくかったと言っていました。山下氏は後仕事がある為、出演後すぐ着替えて会場を出ました。

第一部の歌劇「夕鶴」は前にも見ているが、出演者、伴奏者等皆しっかり演じていることがわかりました。

第二部の日中獅子舞の競演では、大蔵谷獅子舞保存会と生田神社獅子頭保存会の演舞を初めて拝見し、日中の獅子舞の違いを興味深く拝見出来ました。

この記念演奏会は皆の協力で成功出来たと思います。

鳳歌 80 中西ヒナ枝

2022年8月6日、神戸文化ホールにて「日中国交正常化50周年」の記念演奏会が開催されました。私達「鳳歌80」も参加させて頂きました。心より感謝申し上げます。そしてこの素晴らしい大きな会が大成功で無事に終了されました事心よりお祝い申し上げます。このような立派な会に私達「鳳歌80」のコーラスが参加できました事、熱心に御指導下さいました張先生に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

今も心に残っています歌劇「夕鶴」の素晴しかった事！いつまでも良い思い出として残ることと思います。第二部「日中獅子舞」の競演、三団体の舞台は見事な獅子舞でした。この様な縁起の良い競演はもう二度と拝見できないのではないかと感動致しました。最後になりましたが色々とお世話下さいました方々に御礼申し上げます。そして皆様のご健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げます。

一宮櫻花合唱団 野澤睦子

一連の日中国交正常化50周年記念コンサートがコロナ禍にも拘らず 無事終了しました。

兵庫県立芸術文化センターKOBELCO 大ホールの舞台に 四百人の演奏者。四階席まで満員のお客様で、大変気分が高揚しました。引き続き特訓練習を重ねて臨んだ神戸文化ホール(中ホール)では 張先生のエネルギッシュな指揮のもと 皆 一致団結し 素晴らしい舞台になりました。

その後の歌劇「夕鶴」は 小物に至る細部までにこだわりを感じました。

プロの方に交じり須磨ニュータウン少年少女合唱団の皆さんも、とても可愛かったです

圧巻は公演のフィナーレを飾る 日本と中国の伝統を守る獅子舞でした。大蔵谷獅子舞保存会、生田神社獅子頭保存会どちらも見応えあるものでしたが、何と言っても神戸華僑総会舞獅隊は 二つのコンサートを締めくくるに相応しい 素晴らしいものでした。

二つのコンサートに関わった全ての皆様お疲れ様でした。

コール凜 三谷真純

今回、他の合唱団の方々とご一緒させていただける事を大変嬉しく思いながら練習に取り組み、本番では大勢の心を一つにして歌う素晴らしさや響き合う声に感動を覚えました。

中国曲は発音がとても難しいものでありましたが、今回歌わせていただいた『清到天涯海角来』は活気のある曲で楽しく歌えました。

また、合唱以外の舞台も楽しませていただき、ありがとうございました。鑑賞席から同時に起こるどよめきや拍手の中に自分も合わさっている事に心が和み、共感の温かさを感じました。

コーラスの楽しさや難しさを感じながら練習を重ねるも、日本の曲を歌う事もまだまだならない私たちではありますが、今後とも日中友好活動に微力ながらお力添えができれば幸いです。

◀◀ 歌劇「夕鶴」出演者 ▶▶

つう役 坂本 環

日中国交正常化 50 周年

兵庫県 広東省友好提携 40 周年

特定非営利活動法人国際音楽協会設立 25 年 8 月 6 日、記念演奏会に出演させて頂きました。

張先生からお話を頂き、初挑戦の「夕鶴」のつう役で舞台に立たせていただいたのは 2013 年 6 月 9 日、会場は、うはらホールでした。8 月 6 日、中国公演は、天津音楽学院ホールで演奏させて頂きました。中国の子供達は、日本の子供達より年少でしたが、音楽を学んでいる良家の子女といった感じで、素直で人なっこい子供達でした。演奏終了後、バスで会場を後にする私達に、走りながら、(阿とん)と可愛い声をかけながら手を振って見送ってくれた姿が今も鮮明に記憶に残っています。

2018 年も神戸文化ホール、天津音楽院ホールで夕鶴の公演を行いました。今年、つう役を演じるのは 5 回目となりました。

回数だけはベテラン?になってしまいました。2013 年、初めての夕鶴公演は、キャスティングのトラブルもあり、十分な練習時間もなく、不安な気持ちで本番を迎えましたが、国際音楽協会の皆様の絶大なサポート、お客様のお力添えで無事演奏出来ました事は、深く感謝申し上げます。

夕鶴は、音楽が難しく、高度なテクニックが必要とされます。私は 20 年間オペラのプリマとして活動してきましたが、團伊玖磨氏の夕鶴は独特の難しさがありました。

セリフを音楽にのせて、鶴の化身であるつう役を演じるのは至難の業でした。

来年は、神戸市と天津市との友好都市提携 50 周年となります。

夕鶴の公演があります。

より高みを目指してつう役を演じてまいります。今後共、宜しくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様と又、演奏会場でお会い出来ます事楽しみにしています。

夕鶴に出演させていただいて

与ひょう役 馬場清孝

まずこのコロナ禍の中でも皆が健康で終演を迎えられた事に感謝しております。

昨年の 8 月にコロナのデルタ株に感染し、10 月まで入院しておりました。復帰後オペラ公演は初めてなので心配でしたが、皆さんのお陰でなんとか歌いきる事が出来ました。ありがとうございます。

前回は無我夢中で歌い切りましたが、今回は少し余裕を持って歌えたのではないかと考えております。

衣装、舞台セットを用意していただき、与ひょうの持つ優しさ、素朴さを出すために役立ちました。

また、オペラは舞台に出て行く場所、歌う位置、そして何より指揮者に合わせて歌う事の難しさ、プロでもある程度時間がかかるところを、子供達は数回の稽古で動いて聴いて見て、見事に演じきりました。

本番までタイトなスケジュールでしたがなんとか声をコントロール出来ました。
来場いただいたお客様からも分かりやすく良いステージだったと連絡いただきました。
早くコロナが終息して普段の舞台に戻れます事を祈っております。

運ず役 高橋純

この度は、日中国交正常化 50 周年、兵庫県・広東省友好提携 40 周年、NPO 法人国際音楽協会設立 25 周年記念演奏会という大きな節目の演奏会に参加させて頂き、理事長である張先生をはじめ国際音楽協会の皆様のご支援のもと、歌劇「夕鶴」を無事終演できましたことを心より感謝申しあげます。

コロナ禍以来、日本の文化芸術とりわけクラシック音楽は危機的状況に追い込まれ、これまで当たり前のように出演していた演奏会がなくなり、舞台に立つことができない日々が続きました。そのような中であって、私たち演奏家は改めて文化芸術の必要性について考えさせられました。今年の緊急事態宣言が続く中、この「夕鶴」のお話を頂いたときには、大変嬉しい気持ちになるとともに、無事公演できるのかと不安になったことを覚えています。

今年の 5 月から本格的に稽古が始まり、稽古場のコロナ対策はもちろんのこと、自身の体調管理にもとても慎重になりながら準備を進めてきました。短期集中の稽古スケジュールでしたが、これまで何度も本番を重ねてきた出演者とのチームワークで乗り切ることができたと思います。まだまだ、コロナで不安な日は続きますが、舞台に立てる喜びと感謝の気持ちを忘れずに歌っていきたいと思います。この度は本当にありがとうございました。

惣ど役 劉 偉

15年にわたり3回の夕鶴に参加させていただきました。演奏する時はいつも緊張しますが、今回も素晴らしい構成の伴奏で歌わせていただけた事に心より感謝申し上げます。日本語の歌劇は私にとって本当に難しい課題でした、何回も繰り返し練習し、動き、フレーズ、出だしなど、たくさんのことを考えて動かないといけないことに自分の限界を感じ、何度も諦めようと思いましたが、しかし、この貴重な機会は日中友好のかけ橋になる夢を叶える一つであると思い、最後まで諦めず頑張ると決心しました。私にとってたくさんの素晴らしい演奏家とご一緒できたことは光栄のいたりです。また、日ごろお世話になっている国際音楽協会にもさらに感謝感激でいっぱいです。物語の恩返しのようにこれからも頑張っていきたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

アンサンブル神戸 指揮者 矢野正浩

4年前に続き今回2回目の夕鶴を指揮させて頂きました。前回とは違い、今回ではコロナ禍での開催で、張先生をはじめ関係の方々は大変ご苦労されたと推察いたします。その様な中、タイトなスケジュールで体調不良者が続出したにも関わらず公演を成功に導いてくださった出演者の方々には、本当に感謝の気持ちが絶えません。来年にはどうかコロナも落ち着き、中国の地に赴き再び夕鶴の公演が、行えることを願ってやみません。

NPO 法人国際音楽協会主催 日中記念演奏会に出演して

ピアノ 田中一花

この度2022年8月6日に開催されました演奏会に出演させていただき、オペラ夕鶴公演のピアニストとして携わらせていただきました。

5月からキャストが集まり稽古を重ね、この日を迎えましたが、世の中がコロナで落ち着かない中準備をすることはとても大変でした。しかしながら出演者の団結力と信頼の絆で無事に終えることが出来、また、全員が健康でステージに立てましたことを心から感謝しかありません。4年前も45周年記念の演奏会に携わらせていただき、その時の同じメンバーでしたので、音楽的なことや一体感は安定しており、その中で公演に臨むことが出来たのも嬉しかったです。

来年は日中友好50周年という記念すべき年です。今回の公演で、芸術でも友好が結ばれていることを体感し、音楽で中国と日本の架け橋になれたことがとても嬉しかったです。

1日も早く世の中が落ち着き、中国と日本の行き来もしやすくなるようお祈りしております。この度は有難うございました。

オペラ「夕鶴」に出演して

神戸須磨ニュータウン少年少女合唱団 指導者 増田健一

この度、再度日本を代表するオペラ「夕鶴」に出演させていただく機会に恵まれました。少年少女合唱団は卒団などで団員が入れ替わっていきますので、前回2013年に出演した団員は一人もおらず、今回全員が初体験となりました。コロナ禍で本番もマスク着用の残念な状況でしたが、団員たちはよく頑張ってくれました。まず、プログラムに載ったメンバーが全員無事出演できたことを喜びたいと思います。そして、練習中は指揮の矢野先生、与ひょう役の馬場先生はじめ周りの方々に励まされ、指導を受けるうちに自信を深め、大きな不安なく本番に臨むことができました。

オペラは普段の合唱活動以上に学ぶことが多くあります。素晴らしいソリストの方々と共に歌えること、オーケストラで歌えること、演じながら歌うこと、ややつらい練習回数の多さや、長時間の練習も団員の力量を高め、心を強くします。今回の団員たちの頑張りは、次に続く団員の良き目標になっていくと思います。

株式会社アトリエMIC オペラ舞台衣裳デザイナー 松田優

日中国交正常化50周年記念 兵庫県・広東省友好提携40周年 NPO 法人国際音楽協会設立25周年記念演奏会のご成功おめでとうございました。

この度、張文乃先生とのご縁で歌劇「夕鶴」の衣裳・メイク・小道具等のご依頼を賜りました。

衣裳に関して、つうの最初の場面は山奥の雪深い農村の質素な感じを出し、最後の場面は鶴のイメージで白ベースの光沢のある着物に黒柄入り、赤をわずかに髪結い紐や半襟の部分にあしらい、メイクは人間の姿をしているがどこか人間ではない感じを醸し出すために、肌の地塗りを白めにしました。与ひょうはつうとの色彩バランス、日常の生活感が出るように生地や素材や使用感等を考え、運ずと惣どには、本物の藁で編んだ蓑・足甲・草鞋を使用しました。藁を使うと舞台上に大量の藁が抜け落ちるので出

演者、舞台関係者に御迷惑がかかるのでナイロン紐で編んだものを使用するかギリギリまで悩みましたが、照明をあて客席から見ると、本物の藁の存在感に勝るものはないと、藁の採用を決めました。

これから益々のご繁栄をお祈り申し上げます。

司会・歌劇「夕鶴」語り手 廣岡真奈美

「歌劇 夕鶴」への参加は、私にとって、とても貴重な経験でした。

素晴らしい歌声を身近で聞かせていただいただき、また、アンサンブル神戸、ピアノの伴奏により時には楽しく、幸せに、時には狡猾さや不安を体験しながら、私たちを夕鶴の世界へいざなってくれました。

張先生が、一人一人の思いを大切に、自由にしてもらっているとおっしゃっていましたが、その素晴らしい舞台に参加をさせていただき感謝の気持ちでいっぱいです。本当に有難うございました。

学生時代に中国語を専攻し、卒業後、全く中国語とは縁遠い日々を送っていましたが、数十年経って、まさか、このような形で記念の演奏会に参加させていただくことになるとは誰が想像したでしょう！人生って本当に不思議ですね。

《《 獅子舞出演者 》》

生田神社獅子頭保存会

コロナ感染拡大の中での演奏会を開催していただき感謝いたします。

我々の演舞で日中国交正常化 50 周年のひとつのピースとなれたことを喜びに感じております。

さて、共演しました華僑総会舞獅隊とは以前共演したことがあり、この度はその息子さんが代表を務められたことを知り驚きと共に次世代へのつながりを感じました、大蔵谷獅子舞保存会の皆様とは今回初めて共演させていただきましたが、それぞれの素晴らしい演舞を見学させていただき、私どもメンバーの励みとなったことをご報告させていただきます。

これからもよろしく申し上げます。

大蔵谷獅子舞保存会

日中国交正常化 50 周年、誠におめでとうございます。

国境を越えた、音楽にふれることができ、保存会員みな、感激しております。また、普段なかなか関わることがない、伝統文化を大切しておられる方々との交流も、我々にとってとても貴重な経験となりました。

コロナ禍でなかなか活動が思うようにできない中、このような機会を頂けたことに大変感謝しております。

皆様の活動している様子を拝見し、我々も伝統を絶やさぬよう、後世に大切なモノを繋いで行けるようにこれからも活動していきたいと、改めて強く思うことができました。

本当にありがとうございました。

これからも、より一層素晴らしい活動を展開されることを心から願っております。

ありがとうございました。

神戸華僑総会舞獅隊

この度私達神戸華僑総会舞獅隊は日中国交正常化五十周年記念演奏会に参加させて頂き、日中獅子舞の国境を越える共演に感銘を受けました。

本番前、私達は大舞台に緊張しながら舞台袖で準備をしていたところ、舞台から優雅なお囃子が聴こえ、ステージを見るとそこには勇猛な日本獅子舞が舞われていました。

大蔵谷獅子舞保存会の皆様は日本神話に出てくる神様と獅子との演舞で内容として面白く、クライマックスの大技「3段重ね」には隊員一同驚愕を覚えました。

生田神社獅子頭保存会の皆様はご年配の方々が演舞されており心から驚きました。舞獅隊は10代～30代がメインの若者が多く所属しております。

しかし、私達よりも長い年月を活躍されており、人生の先輩として尊敬の念を抱くと共に、更に精進しなければと改めて感じました。

今回の日中獅子舞の共演は日中友好の架け橋として、また機会があれば嬉しく思います

《《 観客からのメッセージ 》》 ～順不同～

その一瞬

檸檬新報舎編集長 平田篤州

漣（さざなみ）のような、どよめき。そしてすぐに、ため息に変わりました。歌劇「夕鶴」のエンディングでのシーン。張文乃さんが、観客に応じて姿を見せた時です。ついさっき、鶴となって空へ帰っていった「つう」が、ステージに舞い戻ってきた、そんな感覚になった一瞬でした。

輝く白、深い黒…鶴を思わせるチャイナドレスに身を包んだ文乃さんは、何度も深々とお辞儀をされました。

「喜んでいただけて、嬉しいです」

後日のお礼の電話にも、丁寧に応えてくださいました。

実は、文乃さんとは記念演奏会の約3週間前に、ある会合で一度、お会いしただけです。優しく、丁寧に応対してくださり、演奏会に、お招きいただいたのでした。

中国語と日本語が交差する会場で、置き去りにしていた「思い出のかけら」を拾いました。

(そうだ、卒論は、中唐の詩人「李賀」だった)

鬼才と呼ばれた詩人。27歳で夭折しました。李賀の詩風は、幻想を志向し、〈昏(くら)い美しさ〉を湛(たた)えています。

(夕鶴の世界にも、通じている…)

半世紀前の学生時代に、一瞬で、誘(いざな)ってくれた文乃さん。忘れていた宝物をプレゼントしていただき、感謝です。

そして、ご自身の歌声をお聴きできる機会を、楽しみにしています。YouTubeで、別のステージの文乃さんを鑑賞させていただき、そんな想いも膨らみました。

“唱响和平”——从国际音乐协会音乐会引发的思考

神戸大学大学院 李雅心

2022年，时值中日邦交正常化50周年、广东省与兵庫県友好提携40周年、国际音乐协会成立25周年之际，在兵庫県神戸市文化厅上演了一场颇为隆重的纪念音乐会。

感谢张文乃会长的邀请，使我有机会得以在现场欣赏这次盛会。

音乐会由中国民乐合奏、合唱、音乐会版日本歌剧《夕鹤》、中国传统舞蹈等颇有意义的几部分组成，可谓中日合璧、雅俗共赏。且参与演出的每支音乐团体都由中日两国的演员组成。近千人的音乐厅座无虚席、每曲之后都是掌声雷动。

当民乐团的《大海啊故乡》奏响的时候、当合唱团的《请到天涯海角来》唱响的时候，我不禁潸然。不仅仅是因为在他乡听到中国音乐引发的共鸣而感动、也不仅仅是因为疫情，几年不能归国的思乡情愫被牵动……不仅仅是这样。更是在这样一个充满不安、动荡的国际环境中，两国的爱乐者用彼此的语言、乐器唱、奏彼此国家音乐的美好画面，深深触动了我……

若在2019年之前，观众们或许会仅仅怀着轻松喜悦的心情去聆听音乐、去感受友好庆典的喜悦。音乐会的意义，也更多是为了纪念、为了欢庆。然而在疫情肆虐、纷争四起的今天，这场音乐会变得更有深意，那就是：音乐可以超越国界，唱出和平。

2021年，我在福冈一所大学做了一场关于“音乐与世界和平”的讲座，与在场的师友们一同探讨了一个问题：“对于现今世界，音乐的意义究竟何在？”或许，对于战争，音乐无法遏制，但音乐是人类对于和平与美好的精神追求。至少，她让这个不怎么太平的世界，可以存在共同的和谐与向往。

让人们心存更多的爱和美善吧！期待在不久的将来，可以听到全人类同唱的和平之歌！

感谢国际音乐协会主办的这场音乐会，愿国际音乐协会常青、愿中日两国友谊长存、愿世界早日和平！

2022年8月15日 于神戸

「一九四六」神戸展実行委員会 宮原信哉

日本在住の華僑の皆様が、祖国中国と日本を愛するお気持ちの強さが、私の心の底にまで伝わりました。今回の記念演奏会は、私の心に刻まれた素晴らしい内容でした。私は2022年8月6日の感動を一生忘れないと思います。

特に、日中文化交流協会の元会長 團伊玖磨先生の「夕鶴」が演奏され、深い感銘を受けました。生前の團先生を知る私にとっては格別でした。また、日中の獅子舞の競演にも大いに感動しました。古来より日本や日本人は、文化先進国の貴国中国から、漢字はもとより仏教や論語など様々な文化を取り入れて参りました。庶民レベルでも、獅子舞の伝統が大切に継承されている事を、張理事長のお計らいで再認識致しました。

日中の間では政治的に困難な時代が続いているからこそ、文献学的にも2000年以上続く中国と日本の交流の歴史を大切に、未来世代に継承したいと思いました。本当に素晴らしい企画でした。

神戸芝居カーニバル実行委員会事務局長 中島 淳

国際音楽協会が設立 25 周年の「記念演奏会」を 8 月 6 日に開催した。「記念」には、日中国交正常化 50 周年と兵庫県・広東省友好提携 40 周年の二つを含んでいるのが素晴らしい。中国と日本の政府レベルで対立が見られる中だからこそ、市民レベルでのこの企画は特筆して良い。

プログラムもすばらしい。この団体が、中国の音楽を普及することを通じて文化交流を図るという理念を、25 年にわたって着実に実現してきた成果である。

そのことは、第 1 部の演奏会形式による歌劇「夕鶴」にもあらわれている。この意欲的な上演を成功させたのは、ソリスト、アンサンブル神戸、須磨ニュータウン少年少女合唱団に力量と可能にする集中力があればこそだった。

第 2 部の日中獅子舞の競演も演奏会を豊かにした。大蔵谷獅子舞保存会、生田神社獅子舞保存会、神戸華僑総会舞獅隊のそれぞれのユーモラスな中に力強さと伝統芸を感じさせる動きに堪能した。

NPO 法人国際音楽協会主催 記念演奏会

兵庫県産業労働部国際局国際課 三坪理香子

日中国交正常化 50 周年、兵庫県・広東省友好提携 40 周年、そして NPO 法人国際音楽協会設立 25 年を祝して、記念すべき演奏会が盛大に開催されたことを心よりお喜び申し上げます。

中国の民族楽器などによる合奏、そして兵庫県、中国・海南省の歌の合唱によるオープニングから、華々しくスタートしました。第一部の歌劇「夕鶴」では、親しみのある物語を拝見し、また第二部では、日中獅子舞 3 団体の個性にあふれた演舞を楽しませていただきました。

趣向を凝らしたプログラムの中で、中国民族楽器を使用した演奏や、勢いのある獅子舞の演舞に、圧倒されつつも深く感動しました。幅広い世代による、日中双方の魅力の詰まった素晴らしい演奏会にご招待いただきまして、ありがとうございました。

最後になりましたが、NPO 法人国際音楽協会様の今後の活動がより一層充実したものとなることをお祈りしております。

神戸テアライオンズクラブ 小林亜光

この度は NPO 法人国際音楽協会設立 25 周年記念演奏会を鑑賞させていただき、ありがとうございました。

コロナ禍もあり、久しぶりに聞く民族楽器合奏は現実を忘れさせてくれて音の世界に引き込んでくれる不思議な時間の始まりでした。合唱に歌劇の夕鶴はよく知っているストーリーなので演奏と歌声に聞き惚れてしまい、すごく贅沢な時間が過ごせました。

獅子舞は、テレビでは見たことはあるものの実際に見るのは初めてでその圧倒される迫力とアクロバティックに目を奪われました。最後の中国の獅子舞は獅子自体がとてもキュートで、舞だけでなく獅子の表情にも目を奪われ最後の最後に「うわー！」と声が出てしまいました。

ここ数年はコロナで色々と自粛していたこともあり、久しぶりに芸術に触れることができ素敵な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

記念演奏会を鑑賞して

元 24 時間テレビ チャリティーイベント実行委員長 松山あつ子

全ての演目も素晴らしく、幸せな豊かな時を過ごさせていただくことが出来ました。本当にありがとうございました。

特にコーラスは日々の鍛練の成果と、杖を手にされながら、メンバーの皆様の温かいサポートの中、しっかりと立位で歌っておられる方のお姿に感激し元気もいただきました。

指揮者の張先生の凛とされた姿勢と、しなやかな手の所作に感極まりました。

そして、初めてお会いし、お世話になったコーラスや京劇など、チャリティーイベントにご出演いただいた日々を懐かしく嬉しく思い出していました。

ご尽力されている日中の文化の交流が、末永く継続されることをご祈念し、張先生はじめ皆様のご健康と益々のご活躍をお祈り申し上げます。

記念演奏会を鑑賞して

神戸市市長室国際部国際課 梅澤 章

先日は、日中国交正常化 50 周年、兵庫県・広東省友好提携 40 周年及び国際音楽協会様設立 25 周年を記念し、盛大な演奏会と歌劇をご披露いただき、誠にありがとうございました。神戸市の友好都市・天津市で暮らし、両都市友好都市提携 45 周年を手掛けた私としては、個人的にも待ち遠しく、大変楽しみにしていた演奏会であり、また、様々な周年を冠した記念すべき演奏会は、他に例がないスペシャルなものであり、ご招待を賜りまして、あらためまして厚く御礼申し上げます。

8 月 6 日の文化ホール上空は、夏真っ盛りの晴天の空となりました。午前中に北区の農村で畑仕事をしていたのですが、あいにくの雨天で作業が滞りなく進められるか、心配していたのですが、午後はそれが嘘のように晴天となりました。やはり、記念演奏会は、日中交流に情熱を注ぐ多くの方々に祝福されていると思いました。

文化ホールの会場に入ったとたん、まず視界に入ったのは、席を埋め尽くすたくさんの観客と、兵庫県の友好都市・広東省を紹介する映像です。日本に帰国して以来、中国の文化に接する機会が少なく、飢えのような渴きを覚えていた私にとって、一瞬にして水を得たような、故郷に帰ったような懐かしい感覚と居心地のよい感覚が入り混じった、暖かく、穏やかな空間でありながら、特別な瞬間に身を置いているような高揚した気持ちになりました。

開幕の中華同文学校の皆様による演奏は、その真っ赤な衣装と熟練した演奏による音色のあまりの美しさに、時を忘れて酔いしれました。「私が求めていたものはこれだ！」と心で叫んでいるように思えました。特に二胡の音色が大好きなのです。優雅で繊細でありながら、大陸の悠久さを彷彿とさせる音色は、いつまでも心を震えさせ、深い感動を呼び起こさせるものです。

次のプログラムの合唱には、神戸市の神戸国際コミュニティセンター (KICC) で働いていた井出さんが出演されていました。微信を通じて個人的に勧誘を受けていたのですが、男女混声の合唱は、日中友好の周年を記念するのにふさわしい、友好的なムードの演出に大いに貢献されていたらっしゃいました。

また、日中友好を象徴する歌劇夕鶴は、4 年前の 2018 年の天津市との友好都市提携 45 周年の際にも、天津音楽学院で公演していただきました。会場となった天津音楽学院は、戦前は旧大和学校、つまり日本

人学校であったところであり、公演された講堂は当時のまま、大和学校ゆかりのレトロな伝統建築物で、不思議な縁を感じたものです。私は、天津市政府や神戸市及び出演していただける小学校との調整、観客の集客など、準備に奔走しながら、本番は別の会場で記念シンポジウムを開催していた関係で、残念ながら歌劇を鑑賞することができず、ずっと心残りになっておりました。それが、これまでの想いが通じたのか、50周年を目前にして、神戸で歌劇の鑑賞が実現できたことに、とても感慨深い思いがいたしました。

歌劇の内容は、圧倒的な歌唱力と演技力にすぐに物語に引き込まれ、あれだけたくさんの来場者の方々がいらっしゃったにも関わらず、会場が一体となって、一瞬たりとも目をそらさず、劇に夢中になっている様に、あらためて監督、脚本家や舞台出演の皆様のプロとしての仕事のすばらしさを実感し、感動いたしました。切ない最後の結末により、美しさやはかなさがより一層増幅され、観客に深い感動を与える演出であったと思います。

日中の獅子舞の演舞も、鑑賞していて大変興味深い、印象に残る舞台でした。伝統芸能を残し、後世に伝えるため、日々ご尽力されている皆様の想いが、ひしひしと伝わってきました。日中の獅子舞演舞を同時に披露することは、これまでなかったのではないのでしょうか。日本の獅子舞の踊りや装飾などの文化に思いをはせるとともに、中国の獅子舞の色鮮やかで華やかな、そして、会場の至るところから声が上がっていましたが、獅子の仕草の可愛いこと可愛いこと。たくさん見所を堪能させていただきました。演舞を鑑賞して、心なしか、来年のお正月や春節が待ち遠しいと思ったのは私だけでしょうか。

最後に一つだけエピソードを申し添えます。張先生が舞台上に登壇されたときに、私の隣りにいらっしゃった女性の観客お二人が、「わあー！」と歓声を上げられました。煌びやかな衣装に身を包まれた張先生が、まさにこの演奏会の主演であり、一番のご功労者であり、多くの観客を引き込み、魅了してやまないカリスマなのだと思います。張先生のご人徳に惹かれて、日中の多くの方々が集い、長年の友好を祝い、そしてこれだけ大きな演奏会を成功に導いていくものと実感いたしました。

徒然なるままに長文、駄文をお許しください。私の微信の朋友圈で、記念演奏会の写真を幾つか共有しましたが、日中の多くの友人からたくさんの「いいね！」をいただきました。音楽は一瞬にしてお互いの距離を縮め、人の心と心を通じさせます。最近も英国で開催されたG7外相会合でしたでしょうか。日本の林外相がビートルズの曲をピアノで即興演奏されましたが、他の国の外相が皆笑顔になり、大盛り上がりになったそうです。音楽には、国境を越え、人種を越える、それだけの力があるのです。これから、日中友好、神戸市と天津市の友好のため、両国、両都市の友好の懸け橋として益々ご活躍いただき、音楽という魔法で多くの方々に魅了し続けていただきますよう、末筆ながら心よりお願い申し上げます。

すばらしい感想文をお寄せくださいました方々、またスタッフとして朝早くからご活躍くださいました皆様に国際音楽協会一同心より感謝申し上げます。



～オープニング～



広東省省長(代読)
副省長 張新様(映像)



中華人民共和国駐大阪
総領事館 (代読)
副総領事 方炜様



兵庫県知事 (代読)
兵庫県産業労働部次長
兼国際局長 小林拓哉様



神戸市市長 (代読)
神戸市市長室室長
増田匡様

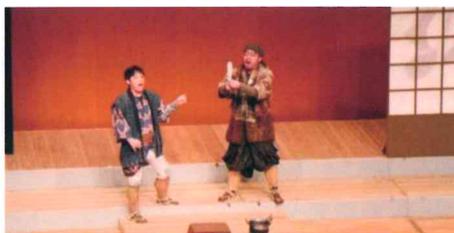
～歌劇「夕鶴」～



与ひょう つう



運ず 惣ど



～日中獅子舞の競演～

生田神社獅子頭保存会



大蔵谷獅子舞保存会



神戸華僑総会舞獅隊



《特定非営利活動法人国際音楽協会会員募集》

音楽は国境を越え、言葉を超えて人々の心を癒し、鼓舞し、豊かにしてくれるものです。

当協会は、この音楽を架け橋にして、お互いの国の文化に触れ、交流と親善を目的に国際都市神戸に生まれた非営利団体です。

音楽を通して世界の人々が仲良く幸せになることを願い、活動しています。

皆様のご支援を心よりお待ちしております。お仲間を増やしてください。

〈振り込み先〉 ゆうちょ銀行 記号0930 8 番号122704

トクテイヒエイリカツドウハウジンコクサイオンガクキョウカイ

	正会員 (個人・団体)	賛助会員 (個人・団体)	学生会員
入会金	¥ 1.000	¥ 1.000	¥ 1.000
年会費	¥ 5.000	¥ 5.000 (1口)	¥ 1.000